

陶都有田国際交流協会だより

交流の絆

陶都有田国際交流協会

〒844-8615 佐賀県西松浦郡有田町岩谷川内2丁目8番1号（有田町役場商工観光課内）

TEL (0955)43-2101 FAX (0955)43-2107

E-MAIL syoko@town.arita.saga.jp ホームページアドレス <http://www2.saganet.ne.jp/arita/>

2004 主な国際交流事業

●有田マイセン姉妹都市提携25周年記念

訪問団69人が マイセン市へ

2004年2月9日、有田町とマイセン市は姉妹都市提携25周年を迎えました。9月21日から29日まで、有田町長を団長とする訪問団53人とヨーロッパ窯業経済視察訪問団16人がマイセン市を訪れ、マイセン市最大のイベント「ワイン祭り」に合わせて、25周年記念事業が行われました。

訪問団の滞在期間中、マイセン市内に「有田カルチャーホール」をオープン。ろくろや絵付けの実演などを行ない、有田町を紹介しました。また、ワイン祭りのパレードには有田町民とマイセン市民による混成「皿踊り隊」を結成。そろいのはっぴや着物姿で、5万人の観衆が埋め尽くす沿道をねり歩き、大きな拍手を受けました。

このほか記念事業の一つとして、マイセン市内やベルリン市などで「ドイツ有田陶芸展」を開催。有田陶芸協会が作品102点を出品展示し、地元でたいへん好評でした。



▲マイセン市民と混成皿踊り隊を結成
ワイン祭りでにぎわうマイセン市内を練り歩いた



▲地元で大人気だった大野太鼓の演奏

●景德鎮冠名1000年祭

首届景德鎮国際陶磁博覧会を訪問



▲博覧会会場では
有田陶芸協会の作品を展示

10月12日から18日まで、中国景德鎮市で冠名1000年を記念する「首届景德鎮国際陶磁博覧会」が開催されました。友好都市である有田町は招待を受け、陶都有田国際交流協会の事業として、訪問団を結成。江崎助役をはじめ有田町民12名が景德鎮市を訪問しました。

博覧会では世界各国の陶磁器業界関係者が集まり、各国の陶磁器作品と中国全土の窯元の作品が展示されました。有田陶芸協会からも作品18点を出展。中国で初めての陶磁器産地での大規模な博覧会に、有田焼が紹介されました。このほか、国際知名陶磁産地市長会議（サミット）も行なわれ、各国代表者が参加し、陶磁器産地の現状と今後の展望について意見交換が行われました。

平成16年度 有田町内の国際交流の動き

- 4月**
- ドイツ語講座開講（講師：6代目国際交流員 インガ ダーゼ氏 月2回）
 - 初級韓国語講座開講（講師：兪華瀆氏 玄海人クラブ）

- 5月**
- ドイツ連邦議会議員団来有（10名）
 - 中国景德鎮市関係者来有（景德鎮陶磁協会理事長 李慶紅他7名）
 - 陶祖祭参列のため(社)韓国陶磁器文化振興協会・利川市関係者来有（韓国陶磁器文化振興協会副会長南基棟氏他22名）
 - 韓国松広寺の僧侶らが陶山神社で薦度齋せんどさい（韓国人住職ら44名） **写真**

- 6月**
- 陶都有田国際交流協会理事会
 - 韓国公州市関係者来有（公州 呉英姫市長他26名）
 - 第17回韓日親善ロードレース大会へ参加のため訪韓（有田陸上競技協会14名）

- 7月**
- 有田町少年少女韓国訪問研修（小学生105名、中学生31名、引率者29名） **写真**
 - 韓国全羅南道海南郡庁の公務員来有（訪問団22名）
 - 陶都有田国際交流協会総会

- 8月**
- 7代目国際交流員 コネリア ライヤー氏着任
 - 玄海人活動10周年・日韓交流音楽会2004（玄海人クラブ）

- 9月**
- 姉妹都市提携25周年記念とワイン祭りに訪問団（篠原町長 他52名） **写真**
 - 姉妹都市提携25周年記念「ヨーロッパ窯業経済視察とワイン祭」に訪問団（16名）
 - 姉妹都市提携25周年記念「ドイツ有田陶芸展」有田陶芸協会会員訪問（15名）
 - マイセン製陶所より25周年記念にコーヒーカップ25個を寄贈
 - 国際理解授業 in 久留米市立諏訪中学校（玄海人クラブ）
 - 国際理解授業 in 嬉野町立大野原小学校（玄海人クラブ）

- 10月**
- 有田窯業大学校中国景德鎮市他研修旅行（専門課程2年生 21名 引率者3名）
 - 中国景德鎮冠名千年祭を祝い訪問団が視察（江崎助役他11名）
 - 中国景德鎮冠名千年祭・世界陶磁博覧会に有田陶芸協会より出展参加(有田陶芸協会1名)
 - 景德鎮市に有田焼を展示した景德鎮有田会館が完成
 - 景德鎮市より有田館へコーヒーカップ22個を寄贈

- 11月**
- 中国中日友好協会代表者来有（会長宋健他9名）
 - 第52回陶都有田ロードレース大会へ参加のため来有（31名(社)韓国社会体育センター陸上中央総合会）
 - 玄海塾でキムチ教室（玄海人クラブ）
 - 国際理解講演 in 佐賀西高等学校（玄海人クラブ）

- 12月**
- 中国景德鎮市関係者来有（景德鎮陶磁学院院長 秦錫麟他5名） **写真**
 - チャリティーバザー（玄海人クラブ）
 - 韓国企業使節団訪日コーディネート（玄海人クラブ）
 - 国際理解講演・キムチ教室 in 松浦国際交流センター（玄海人クラブ）
 - 冬期交換留学来日生と夏期交換留学派遣生との交流会の手伝いと絵付け体験（陶都有田ライオンズクラブ）

- 1月**
- 韓国 佛国寺初等学校関係者来有（校長 曹喜先氏他5名）
 - 冬期交換留学派遣生帰国報告会（2名 陶都有田ライオンズクラブ）

- 3月**
- 有田雛ひなのやきものまつり英語ツアー（13名 県内外に住む外国人）
 - マイセン青少年友好親善交流事業（20名 有田マイセン友好協会） **写真**



韓国人住職が李参平を慰霊する薦度齋を陶山神社で行なった



新型コロナウイルス(SARS)の影響で平成15年度は中止だった少年少女韓国訪問。そのため平成16年度は小学6年生と中学1年生が合同で参加



姉妹都市25周年記念事業ではマイセン市内に有田カルチャーホールをオープン。ろくろの製作実演などを実施



景德鎮陶磁学院院長などが景德鎮市の中国陶磁器博物館建設に向けて来町。九州陶磁文化館などを見学



マイセン青少年友好親善交流事業。今年はマイセン市の青少年を有田町で受け入れた。

国際交流員

コニーさんの活動



有田町7代目国際交流員のコネリア・ライヤーさんは役場商工観光課で働いています。

2004年8月にドイツのライプツィヒ市から有田町にやってきました。

有田町が姉妹都市を結んでいるマイセン市との交流におけるドイツ語や英語の文章の翻訳や、訪問者の通訳などを行なっています。ここで平成16年度の主な活動を紹介します。



ドイツ語教室 (毎月)

生涯学習センターでドイツ語に興味を持っている有田町民や佐賀県民にドイツ語を教えています。

◇初級コース ◇中級コース ◇時間
第1水曜・第4木曜 第2火曜・第3木曜 19:00~20:30

有田中学校のドイツ語講座 (毎週)

有田中学校の選択授業にドイツ語があります。2年生や3年生の3クラスに週一回ドイツ語を指導しています。

広報ありたにコラム掲載「コニーの枕草子」(毎月)

ドイツとの国際交流の関係など、毎月さまざまなテーマをもうけて連載(ドイツの女性の生活、国際交流の意味、国際政治、日本におけるドイツ年、ドイツの失業問題など)。皆さんにもっとドイツのことを知ってもらうために、2005年4月号のコラムからクイズを出しています。正解した人の中から抽選で、ドイツのプレゼントを用意。

有田工業高校の国際理解講座 (10月)

「ライプツィヒ・音楽町」というテーマでドイツの町を紹介するプレゼンテーションとクイズを実施。

アドヴェントカレンダーキャンペーン (12月)

クリスマスイベントに手作りのアドヴェントカレンダー50枚を作り有田町民などに配りました。佐賀新聞、有田町役場のホームページ、広報紙で紹介するほか、NHK佐賀にも出演してPRしました。イベントの目的はドイツのクリスマスの習慣やライプツィヒ市の紹介でした。このほか、ほんまち保育園ではお菓子やクリスマスツリーの飾り物が入ったアドヴェントカレンダーを作りました。

クリスマス会 (12月) (写真A)

ほんまち保育園や有田小学校の放課後教室のクリスマス会に参加。コニーさんが天使に扮して、サンタクロースみたいなお父さんといっしょに登場して、子供たちにドイツのクリスマスを紹介しました。また、有田小学校の英語クラブやボランティア教室のクリスマス会にも参加して、映像を使ってドイツのクリスマスを紹介したりクイズをしたりしました。

有田小学校の英語クラブ(1月~3月) (写真B)

月に1回有田小学校で子供たち40名に英語を指導。簡単な英会話のほか、ゲームをしたり歌を歌ったりしました。子供たちがいちばん好きなゲームは「ハンカチ落とし」。

有田雑のやきものまつり英語ツアー(3月) (写真C)

有田のイベントを広く外国人に知ってもらうため、有田観光英語ツアーを企画。コニーさんが英語でパンフレットを作り、案内しました。県内外から外国人13名が参加しました。有田館の磁器製雛人形の見学や絵付け体験を実施。有田の魅力を知ってもらう良い機会になりました。

マイセン青少年友好親善交流事業(3月) (写真D)

3月25日から4月4日までマイセン市から青少年20名が有田を訪れホームステイ交流事業が行なわれました。事業の円滑な推進に向けて、連絡調整や通訳をしました。今年は「日本におけるドイツ年」のキャンペーンなので「有田におけるドイツの影響の証」というテーマでワークショップを実施。その結果は陶器市期間中に有田館で展示します。



③



④



①

2005
2006

Deutschland
in Japan

日本における
ドイツ



●日本におけるドイツ年

陶器市期間中、 有田館でパネル展

2005年4月から2006年3月まで「日本におけるドイツ年」のキャンペーンが実施されます。これはドイツの文化や歴史などを日本で広く紹介して、日独間の相互理解と絆をさらに深めようというもの。期間中、全国各地で700以上のイベントが予定されています。

そこで有田町では陶器市期間中に、姉妹都市マイセンとの交流を紹介するパネル展を有田館で行います。

毎年実施されている青少年友好親善ホームステイ交流事業として、今年はマイセンの青少年20人が有田にやってきました。そのとき有田とマイセンの子供たちが協力して作製したパネルを展示します。子供たちの目線から見た交流の歴史などを紹介していますので、ぜひ有田館へ来てください。



▲相互交流を続けている青少年友好親善使節団。今回の訪問団は有田とマイセンの交流の歴史などについて調べました。

●ボランティア通訳者・ホストファミリーを募集します



外国人と仲良くなりたい人、いっしょに生活して異文化体験してみたい人など興味がある人を募集しています。登録していただいた人は必要などきに対応していただきます。

・ボランティア通訳者

言語や経験は問いません。外国人と仲良くなりたい人

・ホストファミリー

外国人を家庭に受け入れ、一定期間家族の一員として生活を共にしていただける家庭

◇詳しくは 役場商工観光課まで TEL 43-5068

●陶都有田国際交流協会とは

設立 平成元年6月に主な事業所、各種団体で設立されました。

目的 有田町と外国都市との産業、文化、教育等の国際交流事業を促進し、国際的な相互理解による友好親善に寄与することを目的としています。

活動 町民に国際交流の趣旨の普及や各種親善事業など国際都市「ありた」を目指して活動しています。

●陶都有田国際交流協会ホームページ

協会のホームページを開設しています。これまでの交流の歩みや事業紹介、また外国人観光客のための観光案内（英語・ドイツ語版）も掲載しています。みなさんからのアクセスお待ちしております。



<http://www2.saganet.ne.jp/arita/>

編集後記

昨年4月の第1号に続き「交流の絆・第2号」の発行にいたしました。

有田町はドイツマイセン市と姉妹都市を結んでいるほか、中国景德鎮市や韓国陶磁器文化振興協会とも友好関係にあります。人口約13,000人の小さな町で3か国と関係を結んでいるところは全国でも珍しいこと。「国際交流」というと、外国語が話せないと難しいようなイメージがありますが、国際交流で大切なことは、まず自分の国・町を知ることではないでしょうか。今後も有田の国際交流活動を紹介し、有田の皆さんに知っていただければと思います。本紙に関するご感想・ご意見をぜひお寄せください。